

デポ一通信

2019年5月
発行 越谷ブロック
デポ一建設準備委員会
048-988-3912

NO.5

『デポ一』ってなあに？・・・生活クラブの消費材の『お店』だよ

生活クラブ生協埼玉ではデポ一建設計画が進んでいます。おおぜいの組合員の参加を目指します。

越谷に
おおぜいで
つくるん
です♪

デポ一を拠点に「食の安全」「環境」「たすけあい」地域の課題に向き合い、豊かに暮らせる“まち”を目指します。配布中のアンケートに皆さんの思いの“まち”構想をお待ちしています。

只今、“デポ一”ってこんなところだよ！を知ってもらうための活動をすすめています。そして、生活クラブ生協の考え方に共感する人を増やして行くため、生活クラブを伝えてきます。組合員一人一人の伝える力が大きな力になります。

こんなデポ一があったらいいな
アンケート配布中
(別紙B4版)

提出した方の中から
抽選で20名の方に
デポ一でしか買えない
消費材のプレゼントあるよ！

デポ一への道 Q&A

Q、“デポ一”ってなあに？

A、“デポ一”の語源はフランス語の「DEPOT=荷さばき所」

- ・生活クラブの消費材のお店
- ・人のつながりが生まれるところ

Q、誰でも買えるの？

A、組合員だけが買えるお店です。

- ・デポ一だけを利用する組合員を新たに1,000人募ります。
- ・班、個配組合員もデポ一を利用できる

Q、どこにできるの？

A、越谷市内です。

- ・2020年3月支部大会で確認後物件探し

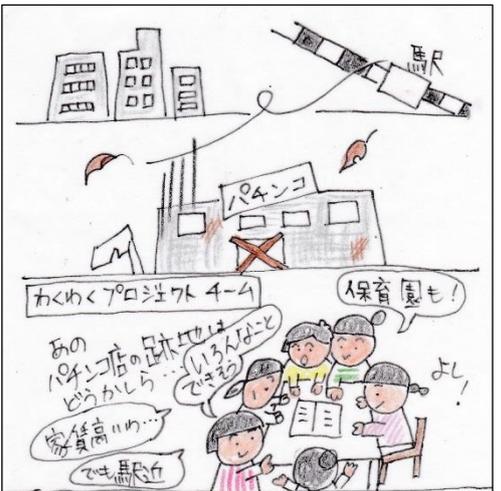
Q、いつできるの？

A、2021年6月オープンを目指しています。

共感する仲間を
増やして
いきましょう



こしがやデポ一への道 by uti



ミニデポ一で 出店

5/12(日) 10:30~15:30

越谷駅東口ロータリー

しあわせのたねのマルシェ

AchaAcha (アチャアチャ)

Vol.5



- ・デポ一ってこんな所だよ
- ・試食・販売(デポ一体験)
- ケチャップなど各種調味料・各種ジュース
- 野菜など(予定)



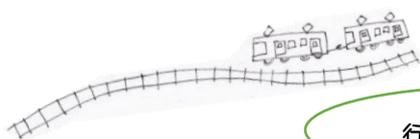
*アチャアチャとは:「しあわせのたね」
主催 人と自然との多様性の中で、地域の人、コト、モノの『いいね』つなぐマルシェ。今年で5回目。昨年は56のブース6,000人の来場者で賑わいました。

生活クラブを伝えるコーナー ～その1～

組合員こだわりの品々

- ・生活クラブ生活協同組合（生活クラブ）は首都圏を中心に北は北海道から西は兵庫県まで33の単位生協があり、組合員総数は40万人（2018年11月）
- ・食品のほとんどは生活クラブオリジナル品でよそでは手には入らない。
- ・減農薬の米・野菜、国産であるだけでなくその飼料までこだわりのある牛・豚・鶏肉に卵、国産原料100%のなたね油にケチャップやトマトジュース、しっかりと発酵熟成させた化学調味料無添加のみそ・しょう、ハム・ソーセージや冷凍食品・菓子類などの加工品も保存料などの食品添加物は不使用または必要最低限である。
- ・すべてその原料や飼料にいたるまで、由来が明らか。

参考文献：小澤祥司著『日本一要求の多い消費者達』ダイヤモンド社



行ってきたよ～♪



夢の実現

3/12 デポーお買い物ツアーで“デポー国分寺”に行ってきました。2017年に西国分寺駅徒歩2分の好立地に移転リニューアルオープン。以前はパチンコ店のあった場所。近隣にはマンションが建ち並んでいる住宅街にこの変身は『“まち”が変わった』と言います。

『デポーは、いろいろなつながりのあるところ』『どういう所にしたいのか、わくわくみんなで話し合ってたよ』こう話すのは、マネジャーの笠間さん。『600人でのオープンしたが、リニューアル後は1,000人増えた』とのこと。まち委員（支部委員）とデポー委員がまつりや試食会、チラシまきやキャラバンで楽しく紹介活動を行ったそうです。

「デポー建設の際に“まちづくり”機能の施設の拠点となる喫茶店や、保育室、市民事業などの複合施設の可能性の追求」が実現したデポーでした。

さあ越谷も『生活クラブでわくわく！デポーでわくわく！』『自分たちの店”、”まち”を作っていきます。』“わくわくプロジェクト”の始まりです。



デポーにしかない500mlの牛乳。ジュースアイスのみ販売。パン屋さんは地域の2ワーカーズが曜日の担当を決め、入荷します。



デポトップ QRコード

デポトップ URL

<https://saitama.seikatsuclub.coop/service/depot/>